

2024-2033事業計画														
評価指標														
1 来訪者数【基準値（2023年度実績）】 ・小牧山歴史館 135,039人 ・小牧山城史跡情報館（れきしるこまき） 100,857人 ※小牧山歴史館の来館者数は、無料エリア入場者数を含む 2 本市への愛着・誇りを感じる割合【基準値】 ・市民意識調査において、本市に対して愛着・誇りを感じると回答した割合（2022年度実績） 60.7% ※そう思う・どちらかといえばそう思うと回答した人の割合の合計 ・小牧山歴史館・小牧山城史跡情報館（れきしるこまき）での利用者アンケートにおいて、本市の紹介意向があると回答した割合（2023年度実績） 55.6% ・観光に携わる個人・団体の数（2023年度実績）（一社）小牧市観光協会正会員数 194 観光ボランティアガイド登録者数 20人 小牧観光サポーター登録数個人 6 法人 6				・小牧市制施行70周年（2025年1月1日～） ・（仮称）小牧オアシスオープン（2024年秋以降の予定）		・小牧市制施行70周年（～2025年12月31日） ・小牧山山頂の石垣復原工事完了（～2026年3月31日） ・大阪・関西万博（2025年4月13日～10月13日） ・小牧山東公園供用開始（2025年6月～の予定） ・大河ドラマ「豊臣兄弟」放送開始（2026年1月～）		・第20回アジア競技大会（2026年9月19日～10月4日）						・小牧・長久手の合戦450年（2034年3月～）
施策	施策の展開方向	具体的な事業	該当戦略	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	
観光地ブランディング	a コンセプトの設定 資源のコアになる価値をコンセプトとしてシンプルに言語化して表現します。	「織田信長の石垣」や「徳川家康の本陣」、「信長の魅せる城・家康の守る城」といったフレーズを継続的に使用し、信長と家康の関わった城であることの価値を発信する。	旅マエ	・実施										
	b 資源の訴求力の向上 複数の資源を一つのストーリーで繋いで魅力を増幅し、小牧へ行ってみたいという訴求力を高めます。	小牧神明社の連理木・田縣神社・間々観音・こども未来館を「子宝」というストーリーで繋いだ観光ルートを造成する。	旅マエ	・準備	・実施	・PR								
情報発信力の強化	a ロコミを活用した観光地としてのイメージの伝達 本市の観光地としての魅力が、ロコミを通じて多くの人に伝わるような仕掛けを実施します。	SNS等でロコミ拡散を狙った投稿を促すキャンペーンを実施する。	旅マエ 旅ナカ 旅アト	・調査・研究	・実施									
	b 企業や学生との共創による情報発信 異なる視点を持つ企業や学生などと連携し、小牧の観光に新たな価値を創出し、発信します。	学生と市内のフォトスポットを発掘する。	旅マエ 旅ナカ 旅アト	・実施	・PR									
		観光事業に参入する事業者や学生とパートナーシップによる事業を展開する。	旅マエ 旅ナカ 旅アト	・調査・研究	・実施									
		インフルエンサーを活用した情報発信を実施する。	旅マエ 旅ナカ	・調査・研究	・実施									
	c 戦略的なプロモーションの実施 媒体の持つ特性を研究し、ニーズやターゲットに合った戦略的なプロモーションを行います。	ターゲット層が閲覧するwebサイトやSNSを活用したwebプロモーションを実施する。	旅マエ 旅ナカ	・実施										
		小牧ファンをつくるために来訪経験者に定期的な情報発信を実施する。	旅アト	・調査・研究	・実施									
		フィルムコミッションを推進する。	旅マエ	・実施										
	d 小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催等 小牧山の歴史やロケーションに着目したイベントなどを実施します。	小牧山さくらまつり、こまき信長夢夜会など織田信長・徳川家康等武将に関連した観光イベントを実施する。	旅マエ 旅ナカ	・実施										
		小牧山を会場とする事業者等が主催するイベントを誘致する。	旅マエ	・実施										
観光マーケティングの強化	a 観光データの収集・分析・活用 客観的データを収集・分析し、今後の施策展開や魅力ある観光プログラムの造成に役立てます。	スマホから取得したビッグデータを調査・分析し、ターゲットの設定や施策・事業に活用する。	旅マエ	・実施										
	SNSやインターネットモニターなどマーケティングツールを活用し、ニーズやトレンドを把握して、観光プログラムを造成する（ex レトロ喫茶店巡り、御朱印巡り）。	旅マエ	・調査・研究	実施										

※2028年度の中間見直しは、事業計画を中心とする見直しを想定

2024-2033事業計画													
				・小牧市制施行70周年(2025年1月1日～) ・(仮称)小牧オアシスオープン(2024年秋以降の予定)	・小牧市制施行70周年(～2025年12月31日) ・小牧山山頂の石垣復原工事完了(～2026年3月31日) ・大阪・関西万博(2025年4月13日～10月13日) ・小牧山東公園供用開始(2025年6月～の予定) ・大河ドラマ「豊臣兄弟」放送開始(2026年1月～)	・第20回アジア競技大会(2026年9月19日～10月4日)	中間見直し					・小牧・長久手の合戦450年(2034年3月～)	
施策	施策の展開方向	具体的な事業	該当戦略	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度
地域資源の育成・魅力向上	a 地域資源の発掘と観光コンテンツ化 地域資源のブラッシュアップと新たな地域資源を発掘し、観光コンテンツ化します。	工場見学など産業プログラムの実施に向けた情報収集や情報発信を実施する。	旅マエ	・実施									
		こまきゴールドの加工品開発を支援する。	旅マエ	・実施			・PR						
		地域に関連した新たな商品開発を支援する。	旅マエ	・実施			・PR						
	b 小牧でしか体験できないプログラムや小牧でしか味わえない商品の開発 地域資源を見直したり、地域資源の組み合わせやアレンジにより、他所にはない小牧特有の魅力を創出します。	空自空上げをPRする。	旅マエ	・実施									
		空自空上げの取り扱い店舗の拡大を支援する。	旅マエ	・実施									
		小牧山での体験プログラムを開発する。	旅マエ	・調査・研究		・実施							
	c 市内における地域資源の普及啓発 市民が来訪者のおもてなし人材となり得るよう、市民を対象とした地域資源の普及啓発を行います。	市内イベント及び市内店舗で地域資源のPRを実施する。	旅マエ 旅ナカ	・実施									
		名古屋コーチンや空自空上げ等を給食で提供する。	旅マエ	・実施									
観光スポットとしての環境整備	a 飲食店・土産物店等の拡充 飲食機会の創出や、飲食店等を増やす取り組みを行います。	キッチンカー等が出店する飲食イベント等を開催する。	旅マエ 旅ナカ	・実施									
		土産物を購入できる場所・機会を増やす。	旅マエ 旅ナカ 旅アト	・実施									
	b フォトスポットの発掘・設置 新たなフォトスポットの発掘・設置を行います。	フォトスポットを発掘し、SNS等で口コミ拡散を狙った投稿を促す。	旅マエ 旅ナカ 旅アト	・実施									
	c 交通手段の利便性向上（駐車場・二次交通） 大型バス駐車場の確保、二次交通の案内の充実、新しい技術を活用した市内周遊手段の整備など、訪れる人の利便性を向上させます。	大型バスに対応した駐車場を確保する。	旅マエ	・調査・研究		・実施							
		サイン等で市内の交通拠点等から観光スポットまでの交通手段の案内を充実させる。	旅マエ 旅ナカ	・調査・研究		・実施							
	d まち歩きが楽しめる景観の整備・保存 まち歩きを楽しめるような景観の保全・整備を行います。	小牧駅から小牧山までの通りや小牧山周辺を中心に憩いの場やまち歩きを楽しめる環境を創出する。	旅マエ 旅ナカ	・調査・研究		・実施							
	e 観光案内サインなどの拡充・多言語対応 市民が来訪者のおもてなし人材となり得るよう、市民を対象とした地域資源の普及啓発を行います。	インバウンド等に対応したわかりやすい観光案内サインを設置する。	旅ナカ	・調査・研究		・実施							

2024-2033事業計画

				・小牧市制施行70周年(2025年1月1日～) ・(仮称)小牧オアシスオープン(2024年秋以降の予定)	・小牧市制施行70周年(～2025年12月31日) ・小牧山山頂の石垣復原工事完了(～2026年3月31日) ・大阪・関西万博(2025年4月13日～10月13日) ・小牧山東公園供用開始(2025年6月～の予定) ・大河ドラマ「豊臣兄弟」放送開始(2026年1月～)	・第20回アジア競技大会(2026年9月19日～10月4日)	中間見直し					・小牧・長久手の合戦450年(2034年3月～)		
施策	施策の展開方向	具体的な事業	該当戦略	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	
観光推進体制の強化	a 観光協会の事業拡大 従来の事業に加え、外国人観光客への対応やマーケティング等、これまでになかった取り組みについても積極的に関与します。	インバウンドに対応したホームページの構築及びパンフレットの多言語化を実施する。	旅マエ 旅ナカ 旅アト	・実施										
		DXを活用し、観光サービスを向上させる。	旅マエ 旅ナカ 旅アト	・調査・研究	→	・実施								
		DXを活用したマーケティングを実施し、海外を含めた多方面からの来訪者を獲得する。	旅マエ	・調査・研究	→	・実施								
	b 事業者の観光産業への参画促進・誘導と支援 補助金や自治体の一部費用負担など、新規事業者のリスクを減らし、観光事業への参入障壁を低くするための取り組みを行います。	ふるさと納税やみやげっなどによる観光事業への参入の機会を提供する。	旅マエ 旅ナカ 旅アト	・実施										
		商品開発など観光事業に取り組む事業者に対する補助金制度の継続・拡充を実施する。	旅マエ 旅ナカ 旅アト	・実施										
		事業者を対象とした観光関連講座を開催する。	旅マエ 旅ナカ 旅アト	・実施										
	c 事業者・観光協会・行政とのネットワークの強化 事業者・観光協会・行政がこれまで以上に強く連携し、観光振興を展開していきます。	三者による同一プロジェクトを運営する。	旅マエ 旅ナカ 旅アト	・実施										